



## ・ワーストワン交差点は、中田中学校入り口交差点（長後街道）

中田中学校入り口交差点は、過去5年間で18件と事故件数が泉区内で一番多かった。右折時の「サンキュウー事故」（相手の車が止まってくれたので、右折したら隣の車線の車やバイクと接触）に注意が必要。

通過車両の事故が多いと思いますが、住民や子どもたちが絡んだ事故は絶対に起こしてはなりません

## 「次に来る変異株は？」

コロナウイルスは次々と変異し、新しい変異株が発見されている、WHOでは名前による偏見を取り除くため、新型コロナウイルスの変異株の命名システムを決め、アルファ株、ベータ株、ガンマ株のように、ギリシャ文字を使って区別するようにしました。

今話題のデルタ株は4番目の文字「δ」であり、次の第6波で警戒されているのは12番目のミュー株「μ」である。

## 「ウィズコロナ」とは

新型コロナウイルスの感染拡大を警戒しながら、経済活動を進めていこうとする期間と言われています。緊急事態宣言が解除され徐々に経済活動を再開させつつ、感染への警戒を怠らないように気をつけて生活する「自粛から自衛へ」の段階であると認識しましょう。

「ウィズコロナ」で大切なのは3蜜を避けることと、マスク、手洗いをきちんとすることです

## 「横浜で震度5弱の地震 東日本大震災以来10年ぶり」

10月7日22時41分に千葉県北西部を震源とするマグニチュード6.1の地震が発生し、埼玉県、東京都で最大震度5強を観測。横浜でも震度5弱が観測されました。緊急停止のエレベーターに閉じ込められた事故が多数発生しました。

中田中学校地域防災拠点の避難所は、どのくらいの地震で開設されるのでしょうか？

横浜市内で震度5強以上が観測された時に開設されます。今回は泉区では震度5弱でしたので避難所は開設されませんでした。コロナ禍で避難の方法が大きく見直されました。避難所は大地震により自宅が住めなくなった住民の避難が基本で、3蜜を避けた避難所運営では50～60名位しか収容できません、親戚や友人宅への避難、車中避難、自宅に留まる避難等いろいろあります。毎回、防災訓練に参加し、自分の家族にあった避難をイメージしましょう。

「この機会に、各家庭の備蓄品チェックや非常持ち出し袋の中身をチェックしましょう。」

## 「首都直下地震「今後30年以内に70%で発生」の根拠は？」

地震調査委員会では元禄関東地震[1703]と関東大震災[1923]の220年間に発生したM7以上の8つの大地震を根拠にしています。単純に計算すると27.5年に1回。これをもとに地震学で用いられる将来予測の計算式に当てはめると「今後30年以内に70%」という発生確率が導き出されます。首都の中核機能に大きな影響をもたらす深刻な被害が想定されている「首都直下地震」、いつ起きてもおかしくないと考えて備える必要があります。

.....  
広町のホームページを開くには !!

[広町自治会](#) 🔍 [検索](#)

